

講演会・カンファランス等のご案内

北九州地区小児科医会例会のご案内

第58回北九州地区小児科医会定期総会
日時：2022年1月16日（日）13：30～

※中止となりました

第574回北九州地区小児科医会例会（ハイブリッド形式）

日時：2022年2月10日（木）19:00～20:30

一般講演：睡眠時の異常行動とてんかん

場所：パークサイドビル小倉

演者：国立病院機構 小倉医療センター 緒方 怜奈 先生

特別講演：小児てんかん ―診断と治療の現在地―

演者：広島大学病院 小児科 講師 石川 暢恒 先生

※オンライン視聴をご希望の際は、二次元コード又は下記メールよりご芳名のご登録をお願い致します。

oono.tomoaki.u7@daiichisankyo.co.jp

担当:第一三共（株）大野宛



その他講演会などのご案内

令和3年度 北九州市小児保健研究会講演会

日時：2022年1月19日（水）19:00～

会場：ウェルとばた大ホール（戸畑区汐井町1番6号）

演者：小倉医療センター 小児科部長 渡辺 恭子 先生

演題：低ホスタファーゼ症をはじめとして、
たまに見られる気を付けたい病気について

第442回小倉小児科医会臨床懇話会（WEB開催）

日時：2022年1月27日（木）19:00～20:00

演題：「当院で経験した小児異常行動の3例」

演者：北九州総合病院 小児科 河原 風子 先生、緒方 愛美 先生
川村 卓先生

産業医科大学カンファランス・セミナー

1月のセミナーは大分大学小児科の井原 健二 教授をお迎えいたします。大変興味深い内容となっておりますので、多くの先生方のご参加をお待ちいたしております。

現地とWeb配信のハイブリッドで開催いたします。

Webでの参加をご希望の先生は、

j-syoni@mbox.med.uoeh-u.ac.jpまでご連絡願います。

後日、参加方法の詳細をお知らせいたします。

産業医科大学小児科クリニカルカンファレンス

日時：2022年1月17日（月）19：00～

場所：産業医科大学大学2号館2208教室

演題：こどものリウマチ ～関節型若年性特発性関節炎～

演者：産業医科大学 小児科 伊藤 琢磨 先生

産業医科大学小児科セミナー

日時：2022年1月20日（木）18：00～

場所：産業医科大学大学2号館2208教室

演題：新生児の飢餓に関わる最近の知見

：タンデムマスからオートファジーまで

演者：大分大学 小児科 教授 井原 健二 先生

産業医科大学小児科クリニカルカンファレンス

日時：2022年2月21日（月）19：00～

場所：産業医科大学大学2号館2208教室

演題：遠くて近いFabry病

演者：産業医科大学小児科 齊宮 真理 先生、

平川 潤 先生、五十嵐 亮太 先生

産業医科大学小児科セミナー

日時：2022年2月24日（木）18：00～

場所：産業医科大学大学2号館2208教室

演題：総合療育センター外来における療育方針決定までの
流れとその後の療育内容について

～カンガルー外来とこあら入所の御案内～

演者：北九州市立総合療育センター

小児科 高野 志保 先生、藤田 弘之 先生

保険診療メモ（202112）

COVID-19に対する院内トリージ実施料（診療報酬上の特例措置）について

COVID-19の流行に伴い、2020年（令和2年）4月8日に、厚生労働省保険局医療課から発信された、新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その9）（<https://www.mhlw.go.jp/content/000620202.pdf>）により、一般の保険医療機関でも、新型コロナウイルス感染症患者（疑い例も含め）に対してのみ、特掲診療料の施設基準等の届け出なしに、院内トリージ実施料を算定することが可能となりました。

当初は、感染予防対策のための資材（PPEなど）も不足し、SARS-CoV-2の核酸検出検査や抗原検査など、確定診断にいたる諸検査の実施も困難をきたす中でスタートしました。各医療機関の対応も様々で、算定されてきた院内トリージ実施料は、そのまま認められるのが実情でした。

福岡県内での小児科診療医療機関の院内トリージ実施料の算定状況を見てみますと、約4割の医療機関で算定が全くない一方、算定をされている医療機関では、全診療件数の7割以上の症例で請求されたり、SARS-CoV-2感染の確定診断のための検査が全く行われていなかったりと、大変不適切な算定実態がみえておりました。

PPEをはじめ感染予防対策資材も十分に流通し、自院でのSARS-CoV-2抗原迅速検査の実施やPCR等の核酸検出検査を民間検査機関へ容易に提出できるようになった今、より適正なCOVID-19に対する院内トリージ実施料の算定が求められています。本年11月に開催された九州小児科医会審査員連絡協議会でも、メインの検討課題となりましたが、概ね以下のような合意が得られました。

- ①「院内トリージ実施料」の算定には、「COVID-19 疑い+感染症病名」が必要である。
- ②COVID-19では、PCR等の検査ができる体制になっており、1エピソードで、検査を行わずに複数回の院内トリージ実施料を算定する場合は、コメントを求める。
（検査を実施しなかった理由の詳記を求める）
なお、単回の算定では、PCRなどの検査は必須ではない。
- ③新たに「COVID-19疑い+感染症病名」が疑われる状況であれば、2回目以降のエピソードとして算定を認める。

SARS-CoV-2抗原迅速検査などの検査を実施した場合は、院内トリージ実施料は、当然算定可能です。なお、複数回のエピソードの間隔は、前回の感染症病名転帰日（治癒）から1週間程度は必要かと思われま

すでに、世界では、感染力の強いとされるオミクロン株が猛威をふるう感染状況となり、わが国でも、いわゆる第6波の流行が危惧されています。オミクロン株は、デルタ株より感染力が強く、小児への感染の機会もより多くなるとの指摘もあるようです。

PPE等による適正な感染予防対策のもと、小児においても必要と判断される症例には、早期にSARS-CoV-2抗原迅速検査やPCR検査などの核酸検出検査を的確に実施し、保育所・幼稚園や学校等での集団感染をできるだけ未然に防ぐ努力が肝要かと思われま

また、患児の新型コロナウイルスの陽性・陰性を明確にすることは、自院の院内感染防止対策上も、大変重要な情報を得ることにもなりま

（福岡県小児科審査委員連絡会）

役員会報告 (1月6日：木曜日)

協議事項・報告事項

1) 第58回定期総会について

今回の総会は、小倉地区が担当で総会準備を平野稔喜先生が中心になっていただいていた。しかし、今回の役員会では、最近の新型コロナウイルス感染症の患者急増のなか、総会開催をするべきかを議論しました。

開催方法としては、厳重な感染症対策をしての現地開催、ZOOMでの開催、ZOOMと現地でのハイブリッド開催などの意見が出ました。準備期間が短いこと、ホテルへのキャンセル料が発生する事より早急に開催するか否かを決めないといけない状況でした。そして、何よりも講演に来ていただく予定の永光教授の御意向を確認することも必要だとの意見も出ました。さらに、所属する大学の方針も考慮する必要があると思われました。事前の出欠調査では80名超の参加の返事をいただいています。仮に、小児科医の会合で、感染者が出た、クラスターが出たとなると大きな問題になり、永光先生だけでなく来賓の方々にもご迷惑をおかけする事態になりかねない事より、残念ではありますが総会の開催を中止と決定しました。

役員会後に永光先生には役員会での決定事項をお知らせしましたところ、翌日(1/7)に以下のお返事をいただきました。

新年明けましておめでとうございます。

講演会中止の件、大変残念ですが、役員会の先生方のご決断理解致します。

またの機会にお声をかけて頂ければ幸いです。

北九州は母子保健領域の取組は全国的にも注目されており、

今後とも参考にさせて頂きたいと常々思っております。

今後ともよろしく願いいたします。

福岡大学小児科 永光信一郎

今回の出席予定者はほとんどの方が永光先生の講演が目的での参加だと思われ。改めて、永光先生を北九州にお招きして講演会を企画したいとの意見も出て、今後検討していきたいと思えます。来賓の方々への連絡もさせていただき総会中止を了承していただきました。

2) 今月の新型コロナウイルス感染症への対応について情報交換・協議はありません。

委員会報告

1. 学術委員会報告：白川嘉継

2022年

1月 総会は中止となりました。

2月10日 木曜日：例会のご案内を参照ください

3月 子どものこころ懇話会との共同開催を検討中

4月 ツムラと調整中

5月 協和キリン株式会社調整中

6月 大塚製薬調整中

その他、COVID19のため、委員会は行われておりません。